

審議結果

審議会等名称：総合計画審議会 計画推進評価部会 グループ会議（グループB）

開催日時：令和7年4月24日（木）18:00～20:00

開催場所：神奈川県庁新庁舎 8階 議会第一会議室

出席者：河野英子、山田貴子、海津ゆりえ、山本篤民、金川剛文

問合せ先：政策局政策部総合政策課計画G 陶山

電話番号045-210-1111（内線3064） ファックス番号045-210-8819

審議経過（議事要旨）

- ◎ 事務局より、資料「新かながわグランドデザイン評価報告書2024」（案）に基づき、プロジェクトごとに、数値目標の達成状況、事業の取組状況、社会環境の変化を表す指標などを踏まえた総合分析や今後の課題と対応方向について説明を行い、「最終評価（総合計画審議会による二次評価）」欄に記載する事項等について、委員による議論を行った。

プロジェクト4 文化・スポーツ

【主な発言】

- 河野座長：「県内総合型地域スポーツクラブの会員数」の達成率が低い理由は、法人の事業移管に伴う会員の区分移動（対象のスポーツクラブの会員でなくなった）によるものとのことだが、その旨を注意書き等で記載した方がよいのではないかな。
- 山田委員：誰のための評価報告書なのか。評価する人が見ればわかると思うが、県民が読んでどこまで理解できるのか。
- 評価をそのまま載せるよりも、もう少し伝わる言葉に翻訳して載せるといったワンクッションが必要。どういう人が手にとって読むのかをイメージすることが重要。
- 海津委員：グラフが、累積と単年で同じ表現になっているので、混在しないように書き方を変える必要があるのではないかな。
- 海津委員：「マグカル・ドット・ネット」は、一般の方には分からないと思うので、説明が必要。
- 河野座長：県が未病に取り組んでいる観点からすると、未病に関する取組とスポーツ・文化との連携について記載があれば、より県の魅力が高まるのではないかな。
- 金川委員：実施計画にK P I の出典が記載されているので、評価報告書のK P I の達成状況

にも出典を記載した方がよい。

- 河野座長：総合分析の中の、「今後の課題」と「対応の方向性」が重要なポイントであり、「県民ホール休館中の文化芸術の鑑賞・参加の機会の確保」、「スポーツ実施率の向上」、「ライフステージに応じた環境整備」に加えて、未病との関係を記載するとより魅力的になる。
- 山本委員：「満20歳以上の人の週3回以上のスポーツ実施率」とあるが、20歳以上では年齢の幅が広い。より細かい年齢幅で見て、「高齢者の数字が低ければ、より高齢者に力を入れていくべき。」などと判断できるのであれば、細かい分析を今後の課題の中に書き込む余地があるのではないか。
- 河野座長：年齢との関係で、スポーツをどれだけ実施しているかということが、例えば生活習慣病などに関係してくることを考えると、病気との関係でも、年齢の分析は非常に意味があると思う。

【まとめ】

- 総合計画審議会の二次評価は、県の一次評価同様、「概ね順調に進んでいます」とする。

プロジェクト5 観光・地域活性化

【主な発言】

- 海津委員：「海外向けSNSの総フォロワー数（総数）」の達成率が非常に高い数値が出ているが、目標は現状を維持するのか。

「三浦半島地域における日帰り観光客の割合」（関連する統計データ）で、三浦半島にはどれぐらいの宿泊施設があり、どう推移しているのかという記載があった方が良いのではないかと。宿泊したくてもできない状況が発生していた場合でも、このような結果になってしまう。
- 山田委員：「関連する統計データ」で、三浦半島エリアや足柄エリアの宿泊者の平均消費単価が掲載されているが、宿泊費が含まれているのであれば、これぐらいの開きはあると思う。

全体の金額が高いというよりは、箱根などで宿泊費が高額なところは、宿泊に費用がかかっているだけで、周遊など使用する金額は、実はそこまで大差はないのではないかとということについて、分析の際に検討してもよいのではないかと。
- 河野座長：K P Iの平均達成率は非常に高いが、県としては1段階下げて「概ね順調に進んでいます」としている。この評価についてどう考えるか。
- 金川委員：高齢化も人口減少も進行し、転出超過の状況についても十分理解できる。3つある構成施策の中で、「移住・定住の促進」において転出超過の状態になっているという1つの

インデックスだけをもってして、４段階評価を１段階下げてよいのか。関連する統計データの転出超過は、１段階下げるほどウエイトの高いものなのか。

- 海津委員：厳密に評価の方法を示しているのに関わらず、違う結果を出しているのはいかなものか。「順調に進んでいます」でよいのではないか。

一方で、観光と移住・定住を同じ枠組の中で評価して良いのか、違和感を覚える。

- 山本委員：ＫＰＩの評価だけでなく、控え目に「概ね順調に進んでいます」という評価をしているのだと思う。ＫＰＩの数字を厳密な意味で評価するのであれば、「順調に進んでいます」という評価でよいと思う。

- 山田委員：県の一次評価は「概ね順調に進んでいます」であるが、審議会の二次評価としては、「順調に進んでいます」としてよいと思う。課題については、記載している内容で問題ない。

- 河野座長：ＫＰＩの達成状況は順調に進んでいる一方で、オーバーツーリズムの問題や移住・定住の問題等を考慮し、１段階下げられたということは理解できる。

しかし、委員の意見としては、「順調に進んでいる」としておいて、今後の課題と方向性で、しっかりと対応を取るべき内容を記載すればよいのではないか。

【まとめ】

- 総合計画審議会の二次評価は、県の一次評価から一段階上げ、「順調に進んでいます」とする。

プロジェクト６ 経済・労働

【主な発言】

- 金川委員：ＫＰＩの達成状況で「県就業支援施設でキャリアカウンセリングを利用した者の就職等進路決定率」が目標に届かなかったとあるが、その要因として、「高齢者の就職決定のミスマッチがあった」という断定的な表現に違和感を覚える。

- 河野座長：現状は工場立地の件数が非常に増えており、どの県も工場立地を増やさなければならぬ状況の中で、これだけ増加しているのは大きな成果だと思う。

色々な取組が達成されていて高い達成率になっているという点からすると、「順調に進んでいる」という評価は妥当なのではないか。

【まとめ】

- 総合計画審議会の二次評価は、県の一次評価同様、「順調に進んでいます」とする。

プロジェクト7 農林水産

【主な発言】

- 海津委員：「農林水産業への新規就業者数」のグラフと「農業・漁業生産関連事業の年間販売金額」のグラフについて、農業と水産を一緒にしている意味は何かあるのか。

統計は別に出ていると思うので、一緒にすると農業と水産のそれぞれの課題が見えなくなる。

- 山本委員：今後の課題で水産業についての言及が少ない。

神奈川県は三浦地域など、水産が盛んな地域があるので、水産業の現状や今後の県としての課題を加えておく方がよいのではないか。

- 山田委員：「農林水産業への新規就業者数」の達成率は順調であると思われるが、担い手になったものの、10年程度経過すると半数くらいは辞めているということもあるのではないか。
実績として毎年新規就業者数は増えてはいるものの、その後どのくらいサポートができていて、一方で辞める人がどのくらいの割合がいるのか見えるとよい。

- 山田委員：新規就農した方々が、5年、10年程度経過後も農業に従事している割合が見えるデータがあればよいのではないか。

- 河野座長：気候変動がある中で、気候変動の影響を受けないような品種、生産方法やA Iによる生育予測など、農業は、効率的な仕組みを取り入れようとしていると思うが、そのような支援の動きは、県の中であるのか。記載されている課題と方向性に繋がれるとよいと思う。

【まとめ】

- 総合計画審議会の二次評価は、県の一次評価同様、「順調に進んでいます」とする。